

『人口減少社会でも輝く！埼玉研究会』report

第2号 (平成 27 年 6 月 12 日号)

編集・発行：彩の国さいたま人づくり広域連合 政策研究担当

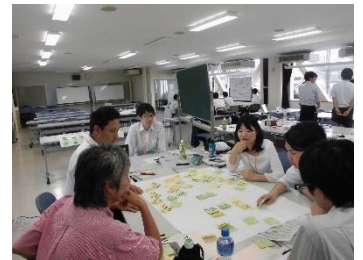
第2回研究会を開催しました！

5月22日（金）の第1回研究会（オープニングセミナー）に続き、第2回研究会を6月12日（金）、自治人材開発センターで開催しました。

私たちの研究会は「人口減少社会突破戦略」をテーマに、『埼玉県の人口を維持、増加させる政策・施策』について提言することを目指して活動しています。そこで、今回の研究会では、総勢22名の研究員を『自然増を考える』『社会増を考える』『雇用増を考える』の3チームに分けて議論を行うこととしました。研究員が事前に作成した「事業提案シート（人口増加に寄与すると考えられる事業・取組を研究員個人が提案するシート）」を用い、それぞれのチームで議論、政策提言に向けた検討をスタートしました。

☆☆☆ 自然増チーム（チーム名：『NATURES』）☆☆☆

自然増チームでは、主に出生率の向上について意見交換が行われました。意見交換では、出生率を向上させる方策を考えるにあたり①独身者に対する結婚支援、②既婚者に対し、もう一人多く産みたいと思える支援の2つをテーマとして設定し、それぞれの課題、解決に向けたポイントなどが話し合われました。①結婚支援については、出会う前から結婚直前まで切れ目のないサポートについて（出会いの場の創出、結婚後のイメージづくりなど）、②もう一人多く産みたいと思える支援については、出産・育児の環境整備や多子世帯への金銭的サポートなどについての意見が出されました。



◆◆◆ 社会増チーム（チーム名：『人口増やしな埼玉 いらっ彩』）◆◆◆



社会増チームでは、主に①地域資源、地域ブランド活用の観点、②東京のベッドタウンとしての観点等からの意見交換が行われました。

意見交換では、ターゲットをどこに設定するか（東京在勤者や子育て世代など）、埼玉に「消極的に住む」から「積極的に住む」への転換、待機児童を解消する必要性などの課題が挙げられました。

また、移民政策の導入などのアイデアも出され、牧瀬先生から事例を交えたアドバイスをいただきながら、活発な意見交換が行われました。

※※※ 雇用増チーム（チーム名：『雇用プラス1』）※※※

雇用増チームでは、時間の関係から①企業誘致、②農業、③働き方に絞った意見交換が行われました。ブレインストーミングを用いながら熱のこもった意見交換が行われ、①企業誘致では、「埼玉県の強みとは何か」をチーム内で共有した後、特定の産業に強いエリアや進出してきた企業と地元企業とのつながり等について、②農業では、農産物の付加価値やマーケティング手法、働き手の確保等について、③働き方では、雇用の質を向上させること、短時間勤務や赤ちゃんと一緒に働くなどの働き方の価値観の転換について等が話し合われました。



今回の牧瀬先生「特別講義」！

本研究会では研究会の開催に合わせ、コーディネーターの牧瀬先生による特別講義を実施しています。オープニングセミナーでの基調講演に続き「2回目」となる今回は、以下の2つのテーマで御講義いただきました。

★★ 特別講義①『交流人口の拡大』★★

地域ブランドとは何かというお話から交流人口増大が地域にもたらす影響、戦略の重要性・ポイントまでを実際の事例を交えながら分かりやすくお話いただきました。

★★ 特別講義②『地方創生とシティプロモーション』★★

これまで各地域で行われてきたシティプロモーションの活動を振り返りながら、シティプロモーションを行う上での基本的視点、地方創生と絡めたシティプロモーションの役割などについてお話いただきました。



【お知らせ】

本研究会の「牧瀬先生特別講義」は地方創生関連業務に従事している方、講義テーマに関心のある方などに公開しています。聴講を希望する方は「彩の国さいたまづくり広域連合 政策研究担当（電話：048-664-6685）」までお問合せください。（座席数の関係で希望する方すべてが聴講できるとは限りません。あらかじめ御了承ください。）

研究会の仲間を紹介します♪

私たちの研究会は牧瀬先生と、職場も年齢も経験も様々な「個性溢れる」研究員22名で構成されています。このコーナーでは、毎号研究会の仲間たちを紹介していきます。今回は牧瀬先生と各チームリーダーを紹介します！

牧瀬 稔（コーディネーター）



所属：（一財）地域開発研究所
「一参加者として皆さんと切磋琢磨しながら進めていきたいと思ひます。良い思い出をつくりましよう。」

遠藤 祐太郎（研究会リーダー、自然増チームリーダー）



所属：春日部市政策課
「研究員の皆さんとの縁を大切にしたいと思ひます。また、可能な限り研究を深め、実践的な研究を行いたいと思ひます。」

鮫島 久（社会増チームリーダー）



所属：嵐山町地域支援課
「様々な主体の皆さんと共同で政策課題を研究することを楽しみにしています。また、自分自身の成長も期待しています。」

一色 義直（雇用増チームリーダー）



所属：所沢市生活福祉課
「メンバーから刺激をいただけるのが共同研究のメリットのひとつと考えます。研究活動を楽しみたいと思ひます！」

次回の研究会は・・・（予定）

次回は、当研究会が研究する「人口減少社会突破戦略」のイメージ（研究の方向性、目指す到達点の確認など）を「研究会（研究員）全体で共有する」作業を行います。また、その後は第2回研究会での議論を踏まえ、それぞれのチーム（自然増、社会増、雇用増）で5～10の事業案を考えていく予定です。

また、牧瀬先生の特別講義も開催します。内容は「①情報収集の仕方・データの見方」、「②政策づくりフレームワークの紹介」を予定しています。興味のある方はぜひ御参加ください。

～今号の最後に事務局から～

いよいよ研究会が本格的にスタートしました。本当に多彩なメンバーが集まり、これからの研究がとても楽しみです。研究会は約9か月間の活動になりますが、まずは9月の中間報告に向けて研究を進めていきます。中間報告では人口増加に資するいくつかの事業案を皆様に御提案できればと考えています。

これからも研究会の情報を多方面で発信していきます。研究会の今後に御期待ください！

◆研究会に関するお問合せは「政策研究担当」まで TEL：048-664-6685 E-mail：jinzai03@hitozukuri.or.jp